



IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラム について

藤原 宏司・浅野 茂・山本幸一

白石 哲也・鈴木 達哉

2019.12.9

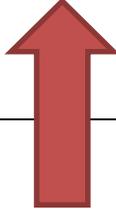
今日の内容

- IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラムについて (20分)
 - 以下、IR担当者向け実践プログラムを「IRプログラム」もしくは「本プログラム」と呼びます
- Q&A (20分)
- 個別質問対応 (20分)

IRプログラム開発の動機

- 日本の大学におけるIR担当者
 - 職員：人事異動によって入れ替わる
 - 教員：任期が付いている場合が多い

構造的な問題

- 
- 後任のIR担当者が何から初めてよいか分からない
 - IRって何？
 - 何をするのに？
 - 何を勉強すればいい？等
 - IR業務が途切れる可能性
- 

- IR担当者に最低限必要な知識・スキルを「体系的に養成」する履修証明プログラムの開発へ

Institutional Researchとは何か

■ IRプログラム開発メンバーによる定義

- IRとは客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又は業務の継続的改善を支援する機能・活動のこと

■ IR担当者に必要な知識・スキル

1. 大学における教育研究や経営等の諸活動について理解できる
2. 大学における諸活動の効果検証を実践できる
3. 学内外から収集したデータを分析に適した形に処理できる
4. データを分析・可視化できる
5. 分析結果を分かりやすく説明できる

データマネジメント&分析
Data Management & Analysis (DMA)

IRプログラムの到達目標

Contextual Knowledge(CK)

大学における
教育研究や経営等の
諸活動について
理解できる。

Assessment(AS)

大学における
諸活動の効果検証を
実践できる。

IR担当者に必要な
知識・スキル

Data Storytelling (DS)

分析結果を
分かりやすく
説明できる。

Data Management (DM)

学内外から
収集したデータを
分析に適した形に
処理できる。

Data Analysis (DA)

データを分析・可視化できる。

本プログラムでは、左図の

- CK
- AS
- DM
- DA
- DS

に関する**基礎的**な知識・スキルの
習得を目標としています。



**IRの初心者・初級者向けの
プログラム**

カリキュラム・マップ

カリキュラム・マップとは、本プログラムにおける到達目標が、各科目を通じてどのように涵養(導入→応用・強化→熟達)されていくのかを視覚化したものです。

I = Introduced 導入科目 M = Mastered 熟達科目
R = Reinforced 応用・強化科目 A = Assessed 達成度合いを評価する科目

科目区分	科目名	到達目標				
		CK	AS	DM	DA	DS
IR入門	IR入門	I				
IR応用	IRとIE(1)		I			
	IRとIE(2)		R			
データマネジメント & 分析	データマネジメント入門(1)			I		
	データマネジメント入門(2)			I		
	MS Power QueryによるDM実践			R		
	データマネジメント実践			R		
	データマネジメント演習			R		
	データマネジメント応用			R		
	IRデータ分析入門				I	
	MS Power BIによるデータの可視化				R	
	IRデータ分析応用				R	
	レポートニング入門(1)					I
	レポートニング入門(2)					I
	レポートニング実践(1)					R
	レポートニング実践(2)					R
レポートニング応用					R	
IR実践	IR実践セミナー	R				
	IE実践セミナー		R			
	IRプロジェクト(1)	M,A	M,A	M,A	M,A	M
	IRプロジェクト(2)	A	A	A	A	A

IRプログラム：4つのポイント

01

日本初のIR履修証明プログラム

大学等の高等教育機関に勤務している方を対象に開講する、IRに特化した日本初の履修証明プログラムです。修了者には、学校教育法に基づき学長名による「履修証明書」を交付します。

02

東京と山形の2会場で開講

第1サイクル(年度前期)には東京都内、第2サイクル(年度後期)には山形大学の2会場で開講します。内容は同一ですので、受講しやすい場所や期間をお選びいただけます。

03

前期と後期の年間2サイクル開講

第1サイクル(年度前期)と第2サイクル(年度後期)の年間2サイクル開講により、業務の都合等で欠席された受講回がある場合でも、翌期に欠席回を受講することができます。

04

現場経験豊富な講師陣による指導

国内外の様々な高等教育関係機関で経験を積み重ねた講師陣となっています。より現場に即した指導により、専門性を高めることができます。ゲスト講師による事例紹介も予定しています。

IRプログラム：2会場2サイクル開講

2会場
2サイクル
開講

業務の都合等で講義を欠席した場合、第1サイクル(年度前期)の受講生は同年度の第2サイクル(年度後期)に、第2サイクル(年度後期)の受講生は翌年度の第1サイクル(年度前期)に対応する欠席回を受講できます。

会場
2

YAMAGATA

●第2サイクル(年度後期)

期間／11月～2月
(4ヶ月・約3週おきに1回)

場所／山形大学 小白川キャンパス

■総時間数：60時間

※加えて、授業外課題等があります。

※土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施します。

土曜日 《4.5時間》	日曜日 《5.5時間》
—	日1 9:00-10:30
—	日2 10:40-12:10
—	～昼食休憩～
土1 13:00-14:30	日3 13:00-14:30
土2 14:40-16:10	日4 14:40-15:40
土3 16:20-17:50	

会場
1

TOKYO

●第1サイクル(年度前期)

期間／5月～10月(6ヶ月・毎月1回)

場所／山形大学 東京サテライト(CIC)

※JR田町駅 徒歩1分

2020年度第1サイクル：授業スケジュール

授業回	一日目（土曜日）	二日目（日曜日）
第1回	2020年5月9日	2020年5月10日
第2回	2020年6月13日	2020年6月14日
第3回	2020年7月11日	2020年7月12日
第4回	2020年8月22日	2020年8月23日
第5回	2020年9月12日	2020年9月13日
第6回	2020年10月3日	2020年10月4日

時間割

土曜日				日曜日			
				日1	9:00	-	10:30
				日2	10:40	-	12:10
				昼食休憩			
±1	13:00	-	14:30	日3	13:00	-	14:30
±2	14:40	-	16:10	日4	14:40	-	15:40
±3	16:20	-	17:50				
(4.5時間)				(5.5時間)			

IRプログラムの特徴（1）

■ 現場のニーズに合わせたカリキュラム構成

- 大学評価・IE（Institutional Effectiveness）
- データマネジメント&分析（DMA）
【収集 → DM → 分析 → 情報提供】

■ なぜDMAが重要か

- 日本の大学では、**データの一元化が進んでいない**
 - 部署ごとに（異なる形式で）データを管理
 - 分析に適した形でのデータ管理は稀
（例：表形式のデータは、BIツール等では扱えない）

IRプログラムの特徴（2）

■ なぜDMAが重要か（続き）

□ 日本のIR担当者には、以下のスキルが
データ分析をする前段として必要

1. 複数部署のデータを連携・統合
2. データを分析に適した形に処理
（変形、加工、エラーチェック等を含む）
3. 将来の経年分析等に備え、簡易DBを設計・構築

DM

IRプログラムの特徴（3）

■ Data Storytelling

- **効果的に情報提供を行う技術のこと**
- データを使って、伝えたいことを伝えたい人に伝える
- **大学経営陣等の忙しいクライアントに対して、短時間で要領よく的を射た説明をする技術は、IR担当者にとって必須**

募集要項：2020年度 第1サイクル用（1）

募集対象

以下のいずれかを満たす方

- ① 現在、大学等の高等教育関係機関に勤務し、IR関連の業務経験が2年未満の方
- ② 現在、大学等の高等教育関係機関に勤務し、今後、IR関連の業務に就くことを希望されている方

応募資格

以下のいずれも満たす方

- ① 高等学校卒業者等の大学入学資格を有している方
- ② 現在、大学等の高等教育機関で勤務している方

定員

7名程度 ※受講者が一定数に満たない場合は、講座を中止することがあります。

履修期間 総時間数

- ① 履修期間：2020年5月～2020年10月
- ② 総時間数：60時間（土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施）

教育課程 授業方法

(1) 教育課程

IR担当者に必要な5つの要素における基礎的な知識・スキルの習得を目標としたカリキュラムを編成しています。

※(2) 授業方法

- ① 講義と実習により構成されています。実習には、表計算ソフトやBIツールを用いたデータマネジメント、データの分析・可視化、分析結果の報告（レポート作成、プレゼンテーション）等があります。この他、授業時間外に課題を課します。
- ② レポートの提出、講師と受講生間のコミュニケーションを目的として、共通のアプリケーションを用います。
※各授業回には、Windows環境を有するノートパソコンをご持参ください。

修了要件

- ① 履修期間内に、すべての講習（合計60時間）を履修し、すべての課題に合格すること
※勤務都合等による未達成科目については、翌期（連続する2期以内）までに履修・合格した場合のみ科目修了を認め、全ての修了要件を達成後、履修証明書を交付します。
- ※ ② IRプロジェクト(1)および(2)について、一定以上の成績を修めること
- ③ 山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会による認定を受けること

募集要項：2020年度 第1サイクル用（2）

受講料 その他の費用

受講料：150,000円
なお、支払われた受講料は、講座の中止以外の理由では返還しませんのでご了承ください。

出願書類 出願方法

(1) 出願書類

- ① 履修申込書 (WEBからの申し込み)
 - ② 最終学歴を証する各種証明書 (卒業証明書等)
 - ③ 高等教育機関に在職していることを証する各種証明書 (在職証明書等)
- ※旧姓の方は、戸籍抄本を添付ください。

(2) 出願方法

出願書類①をWEBサイトから作成し、出願書類②および③については、パスワード保護を施したPDFファイルを、WEBサイトからアップロードしてください。PDFファイルのパスワードは、指定するメールアドレスにお知らせください。

申し込みWEBサイトについては、2020年1月中旬までに山形大学次世代形成・評価開発機構IR部門(OIRE)のホームページ内で告知します。

【山形大学次世代形成・評価開発機構IR部門(OIRE) <https://ir.yamagata-u.ac.jp/>】

選考方法 及び履修許可

- ① 本プログラムの到達目標に照らして、書類に基づき選考を行います。
- ② 選考の結果および納付方法等については、電子メールにてお知らせします。
- ③ 指定された期間に受講手続きを行った合格者に対して、履修を許可します。

出願スケジュール

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| (1) 出願期間 | 2020年1月25日(土)～3月15日(日) |
| ※(2) 選考結果通知 | 2020年3月31日(火) |
| (3) 受講手続期間・受講料納入期間 | 2020年4月1日(水)～2020年4月20日(月) |

単位について

本プログラム修了による単位授与はありません。

実施体制

本プログラムは、山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会によって運営されます。

THANK YOU!

ANY QUESTIONS, COMMENTS OR SUGGESTIONS?

藤原 宏司 | Koji Fujiwara, Ph.D.

kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp



参考資料

藤原宏司（2015）「米国におけるIR履修証明プログラムについての一考察」, 『大学評価とIR』, 第1号, 19-30.

藤原宏司, 浅野茂, 白石哲也, 鈴木達哉, 山本幸一（2019）「IR履修証明プログラムの開発について」, 『大学評価とIR』, 第10号, 3-15.